

実践記録

137

シリーズ

のびのび学習教室「寺子屋」

五泉市教育委員会生涯学習課指導員 谷黒 靖



●事業の目的

五泉市では、平成18年度から

- (1)豊かな体験活動の実践による、自他を大切にしよう人間関係の醸成
- (2)自学自習の生活習慣を形成することによる、基礎学力の向上

を目的として、寺子屋事業を開始しました。現在は、国の推進する放課後子どもプラン「放課後子ども教室」事業の一環として取り組み、今年で4年目になります。



●事業の概要

放課後、参加を希望する児童に、自主学习・体験活動の場の提供などの支援をしています。今年度は320名の児童が寺子屋教室に通っています。

- ①**実施期間** 平成21年6月初旬から平成22年3月中旬までの祝祭日・学校の休業日を除く平日に週2回実施します。実施曜日については、学校や地域の実情を考慮し、決定していますので、教室により異なります。
- ②**時 間** 基本的には、午後1時30分から6時までですが、下校時刻により午後3時から6時までの日もあります。児童の帰宅については、必ず保護者の迎えが必要です。
- ③**使用会場** 小学校近隣の市の施設や地域の集会所を使用しています。今年度は、各小学校区に1教室ずつ(全11教室)開設しました。
- ④**定 員** 1教室20名程度ですが、会場の規模・担当指導者数により50名程度まで受け入れている教室もあります。
- ⑤**参加費** 受講費は無料です。しかし、教材費・おやつ代・体験活動費については、参加費として月額1,500円を、保険料については、年額1,150円を保護者に負担していただいています。
- ⑥**主な活動** 児童は教室に来ると、まず学校の宿題

を始めます。それが終わると、参加費で購入した寺子屋のドリル学習をします。指導者は、児童に寄り添い、個に応じた支援を行います。その後、休憩(おやつタイム)・集団での遊びをしながら保護者の迎えを待ちます。

●体験活動の紹介

日常の活動で実施されるものと、市が主催するものがあります。

指導者は、豊かな人間関係を築くため、施設及びその周辺の環境を利用して、集団での遊び活動を実践しています。ザリガニ釣り・おやつ作り・ゲーム等、指導者の創意が生かされ、児童が一番楽しみにしている時間です。

市が主催するものとしては、全寺子屋児童を対象として、土曜日の午前中に「夏のミニレク大会」と、「秋の愛宕山オリエンテーリング」を実施します。各教室の混成チームを作り、得点を競います。最後に、指導者の皆様から作っていただいたトン汁を食べて解散です。いずれも、保護者・指導者を含め200人を超える参加者で賑わいます。



●今後の課題

市では、一人ひとりに目が行き届くよう、児童7人に1人以上の指導者を各教室に配当したいと考えています。現在69名の登録をいただいているのですが、週に1回程度なら協力できるということで登録いただいている場合が多く、不足については、一部の指導者の方々に複数の教室を担当していただき補っている状態です。年々登録していただける方々も増えてきていますが、指導者ご自身の高齢化・孫ができたなどの家庭環境の変化・介護等で、指導の継続ができなくなる方もおられます。

参加を希望する児童数が増えています。できる限り多くの児童を受け入れることができるよう、人的環境の整備に努めていきます。